

特定非営利活動法人 日本市民スポーツ海外交流協会
平成 29 年度 第 3 回理事会 議事録

- 1.開催日時 平成 29 年 7 月 20 日 午後 6:40～午後 9:10
- 2.開催場所 東京大学工学部本郷キャンパス 14 号館 3 階 321 セミナー室
- 3.理事総数 13 名
- 4.出席者数 6 名（書面表決書 5 名）
出席者（山西哲郎、宇佐美彰朗、保原幸夫、池上孝則、鈴木良雄、比嘉正樹 敬称略）
書面表決書（前河洋一、森川貞夫、小林均、岩山海渡、黒田伸 敬称略）
オブザーバー（中村宏 敬称略）
- 5.議長選任 議長として山西哲郎氏が選出された。

- 6.議事の経過の概要および議決の結果
 - 第 1 号議案 前回理事会および年次総会（6 月 8 日開催分）議事録に関する件
保原氏から各理事に対し過日メールにて送信し、内容を確認していただいたが、特に疑義等がなかったため承認されたものとする旨報告があった。

 - 第 2 号議案 議事録署名人の指名について
議事録署名人として池上孝則氏と保原幸夫氏が選出された。

 - 第 3 号議案 各種届出について
保原氏より、下記の届出を 6 月 26 日付きで東京都に提出した旨報告があった。
 - （1）事業報告書等提出書
「事業報告書」、「活動計算書」（含む「計算書類の注記」）、「貸借対照表」、「財産目録」、「前事業年度の年間役員名簿」、「前事業年度末日における社員のうち 10 人以上の者の名簿」を提出。
 - （2）役員変更届
3 月 31 日付で櫻井由香監事が結婚のため改姓した旨連絡があったので、改姓届を提出。
 - （3）定款変更認証申請書
平成 24 年および平成 29 年の NPO 法改正等に伴う定款変更を行わなければならないので、「定款変更認証申請書」を提出。今回の変更には登記事項はないので、認証日が新定款の施行日となる。
認証には 1～2 ヶ月を要するので 9 月ぐらいになると思われる。

 - 第 4 号議案 各種ランニング教室について
保原氏より実施状況について報告があった。
 - J S I E マラソン完走教室
マラソンシーズンが一段落したこともあり、毎回コアメンバー中心の 2～4 名の参加者で推移している。

■熟年ランニングスクール

7月から新しい期に入り、多少出入りはあるが通期メンバーは今期も10名を超えている。その他、OBの単発参加があり活況を呈している。

■浦安・美走塾

今年は上期だけの実施となるが、7月22日(土)で終了となる。富岡小学校、見明川小学校の2校で約60名の参加だった。

■千葉県民の日・子どもランニング広場

高学年を宇佐美、保原の両氏、低学年を貝谷氏が経営するKAI FACTORYのスタッフ2名が担当して実施。総勢50名ぐらいの参加だったが、父兄からも好評だったため来年もお願いしたいとお話を頂いている。

■北海道マラソン教室

札幌の中島体育センターで、1回目を5月28日(日)に2回目を7月2日(日)に開催し、参加者はそれぞれ25名、30名だった。3回目は7月30日(日)の30Kmペース走体験で、200名程度の参加者を見込んでいる。

第5号議案

2017メルボルンマラソンについて

保原氏より参加申込状況等について説明があった。

6月30日で1次募集(早割)を締め切ったが、現時点での参加申込者数は58名なので、昨年の25名に比べれば2倍程度となっているが、契約条件が厳しくなったので100名程度の参加者がないと黒字にはならない見込みである。

今後、頑張って集客をしたい。

第6号議案

スポーツ栄養ガイドラインセミナーについて

鈴木氏よりセミナーの概要、準備状況等について説明があった。

アスリートの食事の指針を示した国際的基準である「栄養とアスレティックパフォーマンス」日本語版の発表に伴って、関係者向けのセミナーを開催する。

翻訳にあたった「スポーツ栄養勉強会(すぽべん)」と当協会が共催する。

7月23日(日)の13:00~17:30に、大崎の立正大学品川キャンパス11号館大教室で開催する。

当日は、山西理事長が開会の辞を、鈴木氏と岩山氏が講師を務める。

参加者は100名程度と見込んでいる。

第7号議案

ジャンブローネ氏のエリートランナー育成シンポジウムについて

保原氏よりイタリア・トスカーナキャンプのジャンブローネ氏から要望があった日本でのシンポジウム開催について状況説明があり、今後の展開について審議した。

■昨年11月に、東京マラソンの時にジャンブローネ氏が選手を連れて参加したいので、その時シンポジウムを開けないかという話があったが、既に東京マラソンの招待枠は埋まっていたのでその話はなくなった。

■次に、8月の北海道マラソンではという話になったが、北海道マラソンは外国選手招待枠はないということで成立しなかった。

■その後、旅費はジャンブローネ氏が負担するから、日本の滞在費を当協会に負担して欲しい

という話があり、時期的には8月下旬か11月あたりが都合が良いとの話があった。

■当協会としては、できるだけ協力はしたいと思うが、できるだけ多くの関係者に声をかけたいので、シンポジウム開催趣旨および内容を明記した実施要項を提示して欲しいとの回答をした。いずれにしても、準備期間が必要なので8月開催は無理だともお伝えした。

■今後の準備プロセスとして、下記の案を提案した。

①ジャンブローネ氏からシンポジウムプログラムを提示してもらう。

②簡単な説明資料を作成して、陸連、実業団、大学関係者に参加を呼びかける。

③時期としては上記関係者が集まる福岡国際マラソン（12月）、東京マラソン（2月）、びわ湖毎日マラソン（3月）など有力選手が参加する大会に合わせることで参加者の増加を図る。できれば、これらの大会でジャンブローネの選手が招待選手として活躍してくれば最高。

なお、プレゼンの内容としては下記のストーリーを提案して彼の意見を求めている。

①彼が選手育成トレーニングキャンプを設立した理由。

②キャンプ地としてトスカーナを選んだ理由。

③トレーニングの基本方針およびそれに伴うスタッフ体制の特徴。

④育成対象としてウガンダのジュニアを選んだ理由。

⑤選手の育成実績。

⑥日本の選手育成に関する彼の見解。

「アフリカを除けば競技レベルが高い選手層は厚いと思われるが、それは”駅伝”選手を優先的に育成している効用か？」

「日本にはそこそこの選手はたくさんいるが、世界的に通用する（アフリカ選手に対抗できる）選手がいないことについては、トレーニング方法に問題があると思うか？」

「日本選手がアフリカ選手に追いつくためにはどんなトレーニングをすれば良いと考えるか？」

⑦ジャンブローネ式トレーニングをトスカーナキャンプですれば、実現可能なのか？

⑧もし、可能性を高めるとすればジュニア時代から始める必要があるのか？

次回はジャンブローネからの回答を受けて、今後の展開について討議したい。

第8号議案 国際交流パーティについて

本年度も継続実施するかどうかについて審議した。

収支面から見ると、毎年5万～10万円の赤字であるが、せつかく形ができてきたので、経費を何とか捻出して継続実施したいとは考えている。

ただ、実行委員として活動できる人材が確保出来ないという問題があるので、次回理事会までに人材が確保出来た場合は実施、できない場合は中止ということにしたい。

各理事には次回までに協力して頂ける人材の確保をお願いしたい。

第9号議案 その他

■役員名刺について

和英併記で、協会設立目的を明記した名刺を作成して配布するので、会員勧誘に活用して欲しい。

■会員勧誘パンフレットについて

作成が遅れているが、黒田氏作成の原稿ができ次第作成するので、こちらも会員勧誘に活用して欲しい。

■次回理事会について


次回理事会は9月11日(月)の18時30分から東京大学工学部14号館で開催することになった。


以上をもって議案全部の審議を終了したので、午後9時10分議長は閉会を宣言し散会した。

上記の議決を明確にするため、議長及び議事録署名人において下記に署名・押印する。

平成29年7月20日

特定非営利活動法人 日本市民スポーツ海外交流協会

議長 水西 塔印 

議事録署名人 池上 孝則 

議事録署名人 保原 幸夫 